

かみくげ 恐竜の里新聞

平成二十二年十一月二五日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第18号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001

旭日双光章を受章

秋の叙勲・褒章で大野豊さん(上滝)

上滝自治会の大野豊さん(75歳)が11月9日東京国立劇場での秋の叙勲・褒章授与式で旭日双光章を受章され、皇居では天皇陛下から激励を受けられました。

大野さんは松皮師として、この道一筋60年以上の間、ヒノキの皮を採取して全国各地の国宝、重要文化財の社寺の修復に納められてこれ、その業績をたたえられたものです。大野さんの松皮が使われている代表的なところでは善光寺、二条城、住吉大社などでその他にもたくさんさんの国宝・文化財があるそうです。

75歳の大野さんは今も山に入っては仕事を続けられており、京都や静岡まで出張もされています。今は息子さん(浩二氏、45歳)が技術を受け継ぎ、父の代から子の代へ3代に渡って伝統技術を継承してこれられています。また、原皮師の技術を後世に残すための指導にも熱心に取り組んでこれ、全国各地の国有林に出向いておられます。これほど長く松皮師として続けられてきたことをうかがうと、

「体が丈夫なことはもちろんのこと、仕事を通じて多くの方から信用されてきたことが大きい。」と振り返っておられます。

受賞おめでとうございます。

篠山・山南線愛宕山トンネル
建設工事始まる(太田)

県道77号線バイパスとして、太田の愛宕山トンネル建設工事が本格的にスタートしました。工期は来年3月25日まで。

(株)新井組による工事は延長360m(トンネル延長74m、道路幅員6m十片側歩道2.5m)の工事です。

9月に坑口の立木伐採、10月からトンネル東側バイパス道路上(約140m)に受変電室・資材倉庫・試験室・休憩所・監督室・事務所・火薬類取扱所・吹付プラント・給水槽等が施工され、掘削機など多くの大型機械が搬入されています。また同時に、コンサルタントによる周辺住民への住居診断も行われました。

現在は愛宕山東側坑口部の機械掘削による防音ドーム・扉の設置工事が行われており、今後発破による騒音・振動のテストが行われ、12月から発破を使用(1日4回程度)した昼夜連続のトンネル掘削作業が始まります。

この掘削工事は本年中に完了の予定で来年2月からトンネル天井部の工事・床部の舗装工事・撤去工事、4月からトンネル内の照明施工の予定で進められています。

南バイパス推進委員会のメンバーで太田自治会長の中西幸男さんは「騒音や振動の低減、ずり(掘削残土)持出し時の

交通対策等、児童・生徒・通行車両・周辺住民への安全の徹底を施工業者に申し入れています。上久下地域の皆さまには何かとご迷惑をお掛けすることと思いますが、ご協力のほどをお願いいたします。」と話されています。

おたよりコーナー

11月8日、発掘現場を見学にきた福井県勝山恐竜研究会(12名)の会長からのお礼のメッセージです。同研究会は国内最大の福井恐竜博物館のある勝山で恐竜を研究しているアマチュアグループですが、もっている知識は相当なもので、彼らからのメッセージは地元上久下の住民として大変うれしいことです。以下にご紹介します。

先日、丹波竜発掘現場を訪れた際、親切丁寧な説明を頂き、よく解りました。会員一同感謝します。特に発見当時から3次発掘までの説明のなかで感銘をうけたのは

- ① 勝山では骨がばらばらで産出するが、丹波ではそれがたまって倒れたままの形ででているのには、勝山と比較にならない迫力があります。
- ② 丹波竜の骨が大きいことにおどろきました。
- ③ ろっ骨、尾椎が並んでるのは圧巻でした。
- ④ 脳函が出たことは種類の決定に大きなポイントになるように思いました。

上久下地区 文化祭が開かれる

第35回上久下地区文化祭が11月3日地域づくりセンターで開かれました。この時期にしては異常な程に気温が下がった一日でしたが、地区内から200人余りが参加して盛大に行われました。本館、多目的ルームでは茶道の薄茶サービスのほか、華道展、菊花・盆栽展、写真展、手芸・編み物展、小学校・幼稚園の作品展など、数多くが展示されました。

裏庭では青田ボランティアグループが軽食などのバザーを開き、中庭では畑内郷クラブのポン菓子・野菜市や小学校PTAによる「みんなでチャレンジャー」で豆をつまんで皿に移す競技などに人が集まっていました。

小学校児童による「上久下ソーラン」が始まった文化発表会では特設ステージ上での各クラブ、団体による歌やおどりの演奏に耳を傾けていました。恒例となったビンゴゲームや餅まき大会では参加者が集中し、上久下の活気が感じられました。



「道で元気・風景街道」 開催予定!

今年最後のイベントとなる「道で元気・風景街道」「まるごと時代の博物館」が12月6日、発掘現場駐車場（元気村かみくげ）から上滝発電所跡までの市道で「旧上久下村営発電所の改修を記念して大正ロマンを活かして地域の活力を再生する」をテーマに行われます。

上久下地区内から集められた当時を思い浮かべるランプ、電球、蓄音器、電話機、電灯の傘など電気関係の出品や写

真展、水車やいろいろな農器具などの展示のほか焼き芋、うどん、おにぎりのバザーや化石発掘体験、農野菜販売など多彩に催される予定です。

駐車場に建設中のトイレ施設もその日までに使用可能となり、発電所内部も2階部分に限定して当日には内部を開放して展示を行います。

イベントを主催する自治協議会と里づくり協議会では「上久下地域の文化資源の一つ、発電所跡がよみがえります。先人の残した遺産を再確認するためにも地域内から多数参加してください」と呼びかけています。

丹波電キヤクター「ちーたん」もやってきますよ。子供さんもお大人もイベントに参加してくださいね。



12月の予定

◆12月1日（火） 第4次化石発掘調査説明会 地域づくりセンター
午前10時より

◆12月6日（日） 道で元気・風景街道イベント 午前10時より